

重心施設 広報誌



第 20 号
令和 8 年 3 月 発行

神奈川県立
こども医療センター
重症心身障害児施設
Tel 045 (711) 2351
Fax 045 (721) 3324



ご家族の皆様、今年度も温かいご支援とご理解をいただき、誠にありがとうございました。

今年度の看護は、子どもたちと共に「笑顔」と「安全」の大切さを改めて実感する一年となりました。私たちは、お一人おひとりの小さな表情の変化や声にならない思いに真摯に耳を傾け、安全なケアの提供に努めてまいりました。

今年度は特に「子どもたちに楽しんでもらう」という視点を大切にしてきましたが、共に過ごし、心から楽しむ中で初めて気づかされる表情や仕草も多く、子どもたちの成長に私たち職員も深く支えられ、共に歩ませていただいたと感じております。

次年度も、より質の高いケアと安心できる環境をお届けできるよう、職員一同さらに精進してまいります。新しい年度も、どうぞよろしく願いいたします。 看護科長

寒暖差のある日が続く中、穏やかな春の気配とともに今年度を振り返る時期となりました。今年度は感染対策の見直しが進み、日常の関わりや行事に加え、ボランティアの皆さんとの散歩や、移行支援の一環として成人施設の体験・見学を行うなど、少しずつ活動の幅が広がった一年でした。お泊りバスハイクではディズニーランドを訪れ、多くの笑顔が見られたことも印象に残っています。一方で、感染症の流行により、皆さんにご不便をおかけする場面もありました。関係者の皆さまのご理解とご協力に感謝するとともに、来年度も安心で一人ひとりが大切にされる生活を支えてまいります。春の訪れとともに、新たな実りがありますように。

生活支援課長代理



～編集後記～

広報誌「ひだまり」20号をお読みいただきありがとうございました。今回は年度末号として各課科のまとめを掲載しています。春の芽吹きとともに、こどもたちとまた一步新しい年度を迎え、新たな出会いが待つ4月を楽しみに過ごしていきたいと思ひます。

生活支援課 広報担当